

付注 1 - 8 消費性向の要因分解

以下により、家計部門の資産や消費者マインドが消費性向に及ぼす影響について推計した。

(1) 推計式： $PC = \alpha + \beta (1/YD) + \gamma (NFA/YD) + \delta CAL + \epsilon D97$

- PC … 平均消費性向（内閣府「国民経済計算」）
- YD … 可処分所得（同上）
- NFA … 金融資産（純）（日本銀行「資金循環統計」（2002年8月時点の計数）をもとに試算）
- CAL … 消費者マインド（内閣府「消費動向調査」）
- D97 … 消費税率引き上げダミー

(2) 推計結果（推計期間は1991年第1四半期～2001年第1四半期）

α (t 値)	β (t 値)	γ (t 値)	δ (t 値)	ϵ (t 値)	Adj-R ²	D. W.
1.033 (9.53)	-19777.48 (-2.80)	0.007 (2.92)	0.0006 (2.24)	0.020 (3.03)	0.719	1.499

(前期差、%)

消費性向の要因分解

